

天小プライドニュース

アンサンブルコンテストに出場した
子どもたちの日記を紹介します

「ハプニングもあったけど…」6年：松村 華

2月12日(土) いよいよ九州大会当日。たくさんの方々が一つのホールに集まっていた。私は、この日を楽しみにしていました。そして「金賞を取る」という気持ちを胸に演奏をしに来ました。いよいよ私達の番。舞台裏ではきんちょうをしていましたが、演奏が始まる前にちょっとしたハプニングがあり、そのおかげで、一人一人のきんちょうがほぐれ、楽しく演奏することができました。審査結果の発表はZOOMで行われ、私たちはバスの中でその瞬間を待ちました。

「12番 鹿児島県代表 天城町立天城小学校。ゴールド金賞。」としんとしているバスの中にこの声が響きました。私は驚きのあまり一瞬固まってしまいましたが、直後に涙があふれてきました。



「自分達の音楽」4年：基 朝陽

客席は、見るのがこわいくらい広くて、とてもきんちょうしました。演奏を始めると、音がきれいにひびき、8人で作ってきた音楽が特別なものに聞こえてきました。県大会でも、とても広くてびっくりしたけど、九州大会と比べると全然に感じました。演奏が終わると、来年も九州大会で自分達の音楽をお客さんに届けたいと思いました。

「九州大会で金賞を取った」6年：米村 真優

私は、九州大会で金賞を取ることができました。金賞を取ることができた理由は、朝の練習をした時に上手に吹くことができたし、前日にバスの中で、みんなで歌って早さを調べるなどの努力をしていたからだと思いました。そして神社で色々な神様にお願いしたり、絵馬を書いたりしたおかげだとも思いました。私は九州大会で金賞を取れたことをあまり信じていませんでした。けれども寝たことで夢じゃないということを実感することができました。私は金管バンドを卒業するけれども次につないでいてほしいなと思いました。

九州アンサンブルコンテスト
令和4年2月12日(土)：熊本市



「アンサンブルコンテスト」6年：神田 心咲

本番前に円陣を組んで、「九州大会がんばるぞ。」という言葉でおたがいはげました。

私はいつもどおり演奏しようという気持ちで、ユーフォニアムを吹きました。演奏中は、メンバーと目を合わせたり、息を合わせたりできたので、うれしかったです。帰りのバスの中で結果を聞いて、おどろいたあと、みんなで大喜びしました。

九州大会に向けての練習は、今までよりレベルが高く、難しいときもありましたが、目標に向かって楽しい気持ちで最後まで取り組みました。

大会が終わって、ここまで私がやってこられたのは、親や先生、応援してくれた人たちがいたからだわかりました。来年もアンサンブルコンテストはあると思うので、選ばれた人たちはがんばってほしいと思います。

「本番当日」6年：向井 鈴香

九州大会本番当日です。みんなで一生懸命練習してきたことを発揮し、自分の音に自信と責任を持って吹きたいと思いました。そしてついに本番がやってきました。とても心臓がバクバクだったけれど、みんなで楽しく演奏することができました。ドキドキの結果発表がきました。みんなで願って聞いていると、「天城小ゴールド金賞。」と言われ、そのしゅん間に一気に涙があふれました。ここまでみんなで練習してきた良かったし、このメンバーですって願っていた「金賞」が取れてとってもうれしかったです。小学校最後の年に出ることができ最高の結果でした。私はこのメンバーをほこりに思うし、今まで応援してくれた方、たくさん教えてくださった先生方に感謝します。

「アンサンブルコンテスト」6年：豊 愛琉

今日はアンサンブルコンテストの本番でした。昨日の最後の演奏は正直あまりうまくいかなかったけれど、本番になると皆で力を合わせて吹くことができました。とても楽しかったです。結果も「金賞」でとてもびっくりしました。九州で5位以内に入っているということで、うれしかったです。アンサンブルコンテストのことを早くみんなに伝えたいと思います。



職員駐車場整備

2月5日(土) 職員駐車場の切り株の撤去を重田建設さんが重機を使い撤去してくださいました。ありがとうございました。(おぼらだれん)



